

2026 年度 大学院仏教学専攻（博士後期課程） 中国語 【出題意図】

本試験問題は、博士後期課程で研究を希望する留学生に対して、中国語および漢文で記された禅宗関係文献の読解能力、日本語への翻訳能力、ならびに思想内容の理解力を総合的に確認することを目的としている。

○各設問の出題意図

第1問では、中国宋代禅宗文献である『大慧書』を素材として、漢文訓読の基礎的能力、漢文構文の理解力、および禅宗思想に関する文章を自然な現代日本語へ訳出する能力を測定する。とくに、禅宗特有の修行論や語彙を、単なる字義理解にとどまらず、思想的文脈を踏まえて訳出できるかを重視する。

第2問では、印順『中国禅宗史』序文の一節を素材として、現代中国語による学術的文章を正確に読解し、その論旨・因果関係・問題意識を把握したうえで、日本語として論理的かつ簡潔に翻訳できるかを確認する。また、禅宗史研究における史料形成や伝承の多様性に関する議論を読み取り、学術的文章に必要な読解力を備えているかを測定する。